

平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 ＜決勝＞

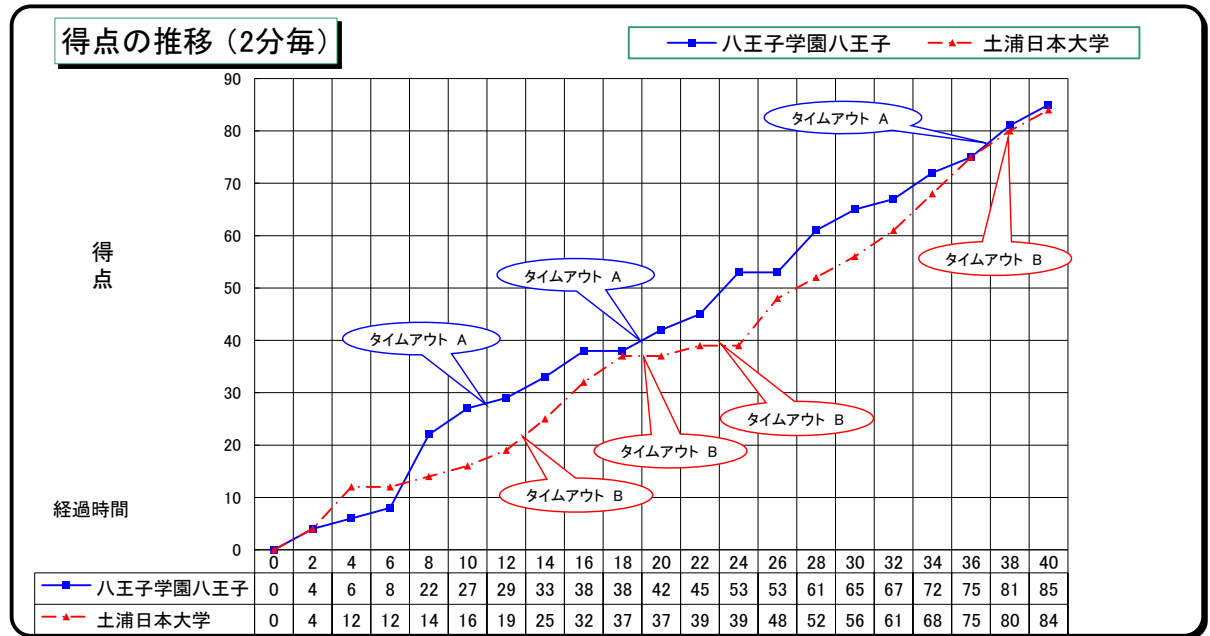
平成27年 5月31日(日)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会2日目	Mコート	第4試合 14:30～										
<チームA> 八王子学園八王子 東京	85 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>27</td><td>1Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>15</td><td>2Q</td><td>21</td></tr> <tr><td>23</td><td>3Q</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>4Q</td><td>28</td></tr> </table>	27	1Q	16	15	2Q	21	23	3Q	19	20	4Q	28	<チームB> 土浦日本大学 茨城
27	1Q	16												
15	2Q	21												
23	3Q	19												
20	4Q	28												

主 審： 安西 郷史(本部) 第1副審： 渡邊 諭(指名) 第2副審： 長谷川 裕(神奈川)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	新屋 広晃	23	5	4		2
◎	5	布田 南樹	6		3		2
◎	6	竹村 龍	8	2	1		1
◎	7	ドゥドウ ゲイ	29		13	3	2
◎	8	多田 武史	19	3	5		1
	9	上地 輝斗					
	10	吉田 麟太郎					
	11	佐藤 杏樹					
	12	斎藤 大海					
	13	川村 僚					
	14	佐村 直紀					
	15	伊地知 大智					
	16	根本 拓真					
	17	黒谷 瑛太郎					
	18	オト 輝恵					
		コーチ 石川 淳一					
合計			85	10	26	3	8

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	山崎 純	15	3	3		3
◎	5	平岩 玄	12		5	2	1
	6	軍司 泰人					
	7	宮本 康平					
◎	8	杉本 天昇	27	3	7	4	4
	9	山田 航希					
◎	10	松脇 圭志	20	2	7		4
◎	11	菅原 暉	10		5		1
	12	大嶋 宏太					
	13	川村 裕太郎					
	14	田澤 龍					
	15	土肥 シヤヒン					
	16	大久保 海斗					
	17	高松 駿斗					
	18	高原 晟也					
		コーチ 佐藤 豊					
合計			84	8	27	6	13

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦 評 記入者： 大高 晃平

決勝戦は、東京1位の八王子学園八王子高等学校(以下八王子)と茨城1位の土浦日本大学高等学校(以下土浦)の対戦となった。

第1P、八王子はマッチアップゾーンディフェンス、土浦はハーフコートマンツーマンディフェンスで試合に臨む。序盤、八王子はインサイドの⑦ドゥドウに、土浦はアウトサイドの⑧杉本にボールを集めて攻撃を展開する。ボール運びでミスが続く土浦に対し、八王子は高い位置からプレスを仕掛ける。これが成功し、速攻での⑦ドゥドウのダンクシュートなどで12-6と6点リードを奪う。土浦は3-2ゾーンに変更し流れを変えようとするが、八王子の④新屋が3Pで引き離す。対する土浦は⑧杉本の連続3Pで追いつける。第1Pは27-16で終了した。

第2P開始直後、土浦は④山崎の3Pで反撃を開始する。八王子は⑦ドゥドウが連続でターンオーバーを犯し、すぐにタイムアウトを請求する。再開後は八王子⑦ドゥドウと土浦⑤平岩がインサイドで互いに点を奪い合う展開となる。その後土浦は⑩松脇の3Pを含む連続得点で一気に点差を詰める。八王子はシュートが決まらなくなり、苦しい時間帯が続く。しかし最後に⑧多田が3Pを沈め42-37で前半終了となった。

第3P、互いにゾーンディフェンスで後半に臨む。八王子は④新屋⑥竹村⑧多田の3連続3Pで突き放し、土浦はたまたまタイムアウトをとる。再開後、土浦はリズムを取り戻し④山崎⑩松脇⑪菅原が次々と加点する。対する八王子は⑧多田④新屋が3Pを決め主導権を渡さない。終了直前のサイドスローでは⑦ドゥドウのアリウーブが決まり、65-56で第3Pが終了した。

第4P、土浦は⑧杉本の3P、④山崎のスクープシュートなどで点差を詰める。八王子は⑦ドゥドウの個人技で対抗する。どちらも譲らない時間が続くが、スティールからの速攻が続き、遂に土浦が逆転に成功する。八王子はタイムアウトをとって落ち着きを取り戻し、その後は1点を争う緊迫した大接戦となる。土浦は⑩松脇の連続得点、八王子は⑦ドゥドウのアリウーブ、⑧多田のカットインで八王子が僅かに1点リードを奪う。追いつける土浦に対し、八王子は決死のディフェンスを見せ、得点を許さなかった。85-84で試合終了となった。関東大会決勝戦に相応しい白熱した試合を制した八王子が優勝を手にした。